

誰もが自分らしく暮らせるまち

赤ちゃんから高齢者まで、市民の一人一人がより充実した生活環境を実現できるようサポートします。

1 健康づくりの推進

誰もが健康で豊かな生活を送ることができる活力ある地域社会の実現に向け、市民の健康寿命の延伸及び生活の質の向上を図るため、ライフステージに応じた健康づくりのための施策を推進します。



また、自らの健康や家族の健康を守る主体的な活動を支援し、保険制度の円滑な運営に努めます。

さらに、えひめ国体を契機に交流人口の拡大に努め、市民のスポーツ競技力の向上を目指すとともに、誰もがスポーツやレクリエーションに親しむことができる環境づくりに取り組みます。

3 子育て環境の充実

少子化や核家族化、女性の社会参加が進むなど、子育て環境が変化中、次代を担う子どもと子育て家庭を地域全体で支え合うしくみを構築します。



また、多様化する保育ニーズに対応するため、相談体制を強化するとともに、現行の保育サービスの見直し・充実を図ります。

さらに、すべての家庭が安心して子育てできるよう、子育て支援サービスの充実を図るとともに地域の子育て環境の整備を図ります。

2 福祉の充実

人口構造が変化し、家族や地域における人間関係の希薄化が懸念される中、高齢者や障害者をはじめ誰もが住み慣れた地域で生活できるよう、お互いに支え合うことのできる社会の構築に努めます。



また、誰もが地域社会の一員として、生きがいを持って安心して生活ができるまちづくりを目指します。

さらに、民生委員・児童委員やボランティア団体等と連携を強化し、地域福祉活動を積極的に推進します。

4 医療体制の充実

新医師臨床研修制度の影響により医師の都市部への偏在と診療科の偏在が顕著になり、医師不足が大きな問題となっています。



西条市休日夜間急患センター

こうした中、引き続き医師確保に努めるとともに、近隣地域との救急医療体制を構築し、医療サービスを安心して受けることができるよう、関係機関との連携を図り、地域医療体制の維持・充実に努めます。

また、市民の医療ニーズを的確に把握し、適切な医療費の助成を通じて福祉の向上を目指します。



健やかに
生き生きと
暮らせる
福祉の
まちづくり

生き生きと暮らせる
西条市です！



日本陸上級公認審判員
平田 数秋さん

私は現在82歳ですが、若いときに始めた陸上競技に、今も現役で取り組んでいます。会社員として働きながら競技していたころと違い、今は自分の時間がたっぷりあります。また、西条市には、さまざまな大会にエントリーし、全国一になることも多いです。自然豊かな西条市は、練習場所もたくさんありますし、スポーツをしていると若い方とふれあう機会がたくさんあるのが生き生きと日々を過ごすことができます。

「西条人」に
聞く

2

豊かな自然と共生する まちづくり

水をめぐる環境整備

うちぬきと呼ばれて、市民に親しまれている自噴水はかけがえのない財産。豊かにめぐらすことで暮らしに潤いを。

1 自然環境の保全

石鎚山から河口干潟、燧灘まで多様性にあふれる自然の生態系は西条市の恵まれた資源であり、次の世代に引き継いでいきます。



そのために、無秩序な開発を抑制し、自然の生態系や希少生物の保全に取り組みます。

また、市民一人一人がその貴重な財産に気づき、自ら行動して保全活動に参加できるよう、実践的な環境教育を推進します。

2 水資源の保全

地下水を含む水資源は、市民の暮らしや産業及び観光に欠かすことのできないものであり、地域の経済発展との均衡に配慮しながら、全市民の積極的な水資源保全への取り組みが求められています。



地下水の流動が水循環の一部を構成していることから、地域の共有の財産「公水」であるという認識に立ち、地下水を様々な脅威から守り、育み、適正に利用して、健全で持続可能な水循環システムを未来へ継承していかなければなりません。

そのため、水資源強化策である保水(土)能力の高い森林の整備や地下浸透機能の向上に取り組むほか、水資源の質と量の調査・監視を行い、水利用における条例等を策定します。

※1 3R:リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再生利用)の略。
※2 ゼロエミッション:生産活動に伴い発生するごみや排熱を、他の生産活動の原材料やエネルギーとして利用し、生産・流通・消費・廃棄のプロセスを再編成することによって、個々の産業で生じる廃棄物を社会全体としてゼロにしようとする考え方。
※3 エコツーリズム:エコロジーとツーリズムを組み合わせた造語。動物植物などの自然資源に恵まれた地域で、自然環境との共存を図りながら、自然観察を行ったり、昔の生活や歴史を学んだりする新しい形の観光。
※4 新エネルギー:太陽エネルギーや風力エネルギー等の自然エネルギーや、メタノール・天然ガス等、燃焼時に有害物の排出が少ないエネルギー等、環境への負荷が少ないエネルギーの総称。
※5 アセットマネジメント:施設の中長期的な損傷・劣化等を予測し、計画的かつ効率的な維持管理を行う考え方。

3 生活環境の整備

快適な暮らしを守るために、騒音・大気汚染・水質汚濁・悪臭等の公害防止に努めるとともに、廃棄物の適正な処理、3R※1の促進による循環型社会の構築、不法投棄の防止等といった、環境に配慮しゼロエミッション※2を目指した施策を、市民・企業・行政が一体となって推進します。



また、生活排水及び事業所排水対策等に取り組みます。更には、河川や道路等の公共の場の環境美化に積極的に取り組み、安全で、美しさとうるおいを感じる生活環境を創造します。

4 環境資源を活かした地域づくり

本市の恵まれた自然環境をまちづくりに活かし、対外的にアピールすることにより、地域のイメージの向上を図ります。



恵まれた水資源については、水を活かした都市環境の形成をさらに推進し、「水の都」の魅力アピールします。

太陽光発電パネルを設置した市役所新館

また、石鎚山系などの自然環境を利用したエコツーリズム※3の推進を支援します。

さらに、省エネルギーや新エネルギー※4の利用を推進し、地球温暖化の防止や環境への負荷の少ない地域社会の形成を目指します。

5 上下水道の整備

安心で快適な生活環境の創造を目指して、上水道については、安全でおいしい水を安定的に供給するために、地震対策や老朽化した施設の更新などを計画的に進め、下水道については、計画的な整備と普及促進を図り、アセットマネジメント※5の導入により効率的かつ効果的に施設を管理・改築していきます。



また、上下水道共に経営の健全化・効率化を推進し、経営基盤の強化を図っていきます。

大切なうちぬぎの水を守り続けたい

西条市婦人会
青木 浩子 さん

「西条人」に聞く
水の恵みに感謝

西条に嫁いで50年になりました。最初は水が美味しかったです。コーヒーやお漬物も、うちぬぎを使うとより美味しく仕上がります。西条市民にとっても身近な水ですが、あつて当たり前ではなく限りある資源だということを忘れてはなりません。子どもたちにも水を大切にすることを伝えてほしいという思いから、婦人会としてうちぬぎについて勉強するボランティア活動なども行っています。



機能的で未来を見すえた 発展するまちづくり

四国の交通の要衝としての特性が生きる外へ向けての交通網の整備や、暮らす人にやさしい整備に取り組みます。

1 交通体系の整備

道路については、幹線道路(小松バイパス整備・今治小松自動車道全線開通等)の早期実現を要望するとともに、国道11号・国道196号・主要地方道壬生川新居浜野田線などの主要幹線道路とのアクセス道路の整備を促進します。さらに、生活道路の整備についても、計画的かつ効率的な道路ネットワークを推進します。また、国道194号については、瀬戸内海側と太平洋側を結ぶ幹線道路であり、災害時には緊急輸送路としての機能が重要となってくることから、利用促進による沿線の活性化を図ります。



鉄道網については、四国における高速鉄道ネットワーク整備の早期実現に向け、県など関係機関と引き続き一体となって取り組むとともに、市内移動手段としての利用啓発に努めます。

海上交通については、愛媛県で唯一の関西航路フェリーが発着する東予港の機能強化を目指すとともに、海上ルートと道路ネットワークとの連携を図ります。

路線バス等の市民生活に身近な移動手段については、地域に寄り添う交通体系を目指すとともに、持続可能な公共交通機関としての拡充を図ります。

また、交通体系の維持管理においては、今後、急速な高齢化や南海トラフ巨大地震に対応するため、道路ストックや橋梁のアセットマネジメント※1を行い、計画的に長寿命化対策や耐震補強を実施します。

※1 アセットマネジメント:施設の中長期的な損傷・劣化等を予測し、計画的かつ効率的な維持管理を行う考え方。
※2 ユニバーサルデザイン:年齢や身体状況などにかかわらず、誰もが安全に使いやすく、わかりやすい暮らしづくりのために、製品や環境・サービスを設計する考え方。

2 市街地整備

都市基盤については、市民と企業がともに満足できるように、継続して充実していく必要があります。その際には、障害の有無や年齢にかかわらず、全ての人にやさしいユニバーサルデザイン※2の考え方を持ったまちづくりを進めるとともに、循環型社会の構築を推進するために、木材を活用したまちづくりにも取り組みます。



駅周辺等の市街地については、公共施設整備や街路整備を通じて、快適な都市環境を形成し、民間活力の誘発を支援します。

3 港湾・河川の整備

産業活動及び地域の物流を支える拠点港として重要な役割を果たしている東予港について、港湾計画に基づき、耐震強化岸壁など港湾施設の早期着工・早期完成を目指します。



市管理河川・水路などについては、家屋の浸水被害の防止や軽減を図るため整備・改修を行います。

4 公園・緑地の整備

都市公園については、市民が親しみやすい施設として整備するとともに、安らぎと憩いの空間としての機能や、防災拠点としての機能の拡充に努めます。さらに、遊具や公園施設の維持管理についても、計画的に修繕や更新を行い、安全性の確保を図ります。



5 住宅・宅地の整備

木造住宅の耐震化を推進するなど既存住宅の安全性を確保するとともに、公営住宅の計画的な整備・充実を図り、良好な住宅環境を形成します。



3

快適な都市基盤の まちづくり

To build a city with a pleasant urban infrastructure, Saijo will work to develop an efficient, well-planned road network of arterial and residential roads. Similarly, the city plans to develop railroads and marine transportation with a view of linking them with the road networks. Additionally, various other infrastructure developments will be actively pursued, including urban planning, port improvement, and housing and residential land improvements.



もっと住みやすく
快適な街に!



西条市在住 一級建築士
塩出 佳太さん

道 路網の拡充など西条市の都市インフラ整備は年々充実の一途をたどっています。特に注目したいのは、道路を整備する際、歩車分離(歩道と車道の進入口を分けること)が積極的に行われており、市民の安全に配慮がなされていること。また私自身も工事に関わらせていただいた壬生川駅周辺再開発では、跨線橋をつくり人的な交流を促進。駅前公園をつくることで市民の豊かな生活がサポートされています。

人想いの整備



「西条人」に

安心は、暮らしやすさの原点

暮らしを脅かすさまざまな問題にまちぐるみで対応し、安全で安心して暮らせるまちとしてのポイントアップを図ります。

1 防災・減災対策の強化



風水害や津波、南海トラフ巨大地震等に備えて、防災・減災対策の強化や防災基盤の整備など、安全・安心なまちづくりを進めることが重要です。

市内全域における情報の的確な収集と、住民への迅速な伝達手段の構築を図るほか、山間部や沿岸部、河川流域など災害が発生する可能性が高い地域においては、優先的に必要な対策を講じます。

併せて、教育施設を含む地域の身近な公共施設については、耐震化や災害対応機能の強化を図り、災害時の避難所及び避難場所としての機能を果たせるようにします。

また、平時における市民一人一人の、防災・減災意識の醸成が重要であることから、12歳教育(防災教育)や防災訓練、広報活動等を通じて、意識啓発と知識の普及に努めます。

さらに、大規模な災害発生時に迅速に対応できるよう、消防・救急・救助体制を強化するとともに、“自助・共助”の中核を担う消防団や自主防災組織の強化及び結成促進や、様々な分野の企業・団体との災害時応援協定締結に取り組み、地域の防災力向上に繋げていきます。

2 防犯対策の推進



地域ぐるみの防犯活動を推進するため、市民・警察・学校・防犯協会等の関係団体との連携を図りながら、防犯パトロールや啓発活動に取り組むとともに、各自治会等が行う防犯灯の設置・維持を支援します。

また、消費者の安全・安心な暮らしを実現するため、専門の相談員による相談活動と併せて、消費者教育・啓発活動に取り組み、多様化・複雑化する消費者トラブルの防止に努めます。

3 交通安全対策の推進



市民の交通安全意識の高揚を図るため、警察・交通安全協会等の関係団体との連携を図り、交通安全運動の街頭キャンペーン活動や高齢者、子どもを対象とした交通安全教室など各種啓発活動の実施に努めます。

また、交通事故多発交差点や危険箇所等の交通安全施設を整備・充実し、交通事故の未然防止を図ります。



災害に強く
安全で安心して
暮らせる
まちづくり

Striving to create a disaster-resistant city where residents can live with a peace of mind, the city is working to enhance measures for preventing and reducing disasters by assuming the possibilities of windstorm and flood damage, tsunami, and great Nankai Trough earthquake. The city is also implementing anticrime measures that involve the communities, and traffic safety measures in cooperation with relevant entities such as the police department and Japan Traffic Safety Association (JTSA). The intention is to enhance these efforts not only by developing the tangible "hardware" aspects of these measures, but also the personal "soft" elements such as relationships with local residents.

「西条人」に
聞く

地域密着の防災活動

消防団としての役割は、地域のパトロールや消水利の確保、避難訓練などが主ですが、それらを遂行する上で大切なのは地域とのコミュニケーションです。特に近年は独居老人の方が増えているので、日常的に家庭訪問し、火元の確認などを行っています。また、各小学校で少年消防クラブを結成し、地域の消防団と一緒に活動したり、世代間の交流をしながら防災の意識共有に努めています。

西条市消防団西支団副支団長
越智建樹さん

防災意識の高い市民が
多いまちです。

豊かな人生をつくるのは 感じる心と受け継ぐ文化

児童生徒の学力向上と自主性や創造性を伸ばすことはもちろん、市民の学びの場を充実させ生涯学習を応援します。

1 学校教育の充実

学校教育を生涯学習の基礎と位置づけて、知・徳・体の調和がとれ、「生きる力」を持った心豊かでたくましい人材の育成を目指し、児童生徒一人一人の確かな学力の向上と自主性や創造性・協調性を伸ばすための学校教育に取り組みます。



また、地域の特性を活かした個性ある教育を進めるとともに、地域の人材の積極的な活用にも取り組むなど、家庭や地域社会との連携を図りながら、地域社会に開かれた教育を目指します。

2 地域文化の継承・形成

生涯学習施設等を活用し、団体やサークルなど市民の文化芸術活動を支援するほか、すぐれた芸術文化に触れる機会の充実を図ります。



また各伝統民俗芸能の継承に努めるなど、市民が参加・創造しながら地域に根ざした文化の形成を進めます。

3 歴史文化の保全・活用

史跡・建造物・美術工芸品ほか貴重な文化財の保存活用や、新たな文化財の実体把握に努めるとともに、その周知啓発を図ります。



また先人の顕彰を行い、その業績を広く周知するための施策に取り組むなど、郷土の歴史文化遺産の保全を通じた地域活性化を図っていきます。

4 社会教育の充実

市民一人一人が、それぞれのライフステージにおいて、自らの能力や適性、意欲に応じて学ぶことができる、より多様な学習機会の提供に努めます。



また、地域社会における「人づくり」のための教育力を向上させるとともに、市民の誰もが、生涯学習を通じて得た知識や能力を、社会に還元することができるような「しくみづくり」を推進します。

さらに、それらの生涯学習活動を推進し教育施設の利用促進を図るために、必要な公共施設の整備充実にも取り組みます。

5 人権・同和教育の推進

同和教育をはじめ、様々な人権問題を解決し、すべての人々の人権が尊重・保障される明るく住みよい地域社会の実現を目指します。



そのために、市民一人一人に広く人権意識が浸透するよう、人権・同和教育を充実していきます。

また、日常生活において、お互いの人権を尊重し行動することが文化として定着するよう、人権文化のまちづくりに関する施策を総合的に推進します。

5

豊かな心を育む 教育文化のまちづくり

In order to build a community with education and culture that nurtures "rich spirits and minds," the city has positioned school education as the foundation for lifetime learning and strives to cultivate human resources that possess the fortitude for living. The city, placing importance on passing down and developing the culture of the region, works to support its residents' artistic and cultural activities, and to protect the cultural assets associated with local prominent figures. Efforts will be made to provide a wide variety of learning opportunities for each and every resident.



地域活動が盛んで
教育に熱心!



西条市PTA連合会会長
鳳慶洲さん

境だなど感じています。

地域との
結びつきが大切



「西条人」に

元気なまちで人が輝く

大きく発展していくまちは、働く人たちの笑顔であふれています。

1 農業の振興

高い生産性と収益性を持つ「安定した強い農業」と「美しく活力ある農村」の実現を目指します。

そのために、農業生産基盤の整備や営農支援を行い、新規就農者の確保・育成にも積極的に取り組みます。

また、「地産地消」と連携した「食育^{※1}」を促進するとともに、農産物のブランド化、時代の流れを見据えた多種多様な農産物の販路拡大などを推進します。

そのほか、農業と観光とが連携したグリーン・ツーリズム^{※2}など、農業に関心を持つ市民や観光客に向けた取り組みも進めます。



2 林業の振興

森林の有する水源かん養^{※3}や土砂流出防止など多面的機能を持続的に発揮させていくため、造林や育林などの事業活動及び担い手の育成を支援します。

また、経営の安定化を図るために、高性能機械の導入支援や林道・作業道など林業生産基盤の整備を推進します。

併せて、木質バイオマス^{※4}の循環利用など、木材の利用拡大を図ることにより、林業の成長産業化を推進、地元産材を利用した公共施設や住宅の整備などを進めることで、林業の経営基盤の充実・強化に努めます。



3 水産業の振興

漁港や漁業関連施設の整備、魚介類の種苗放流や藻場づくり、漁場の清掃など、水産資源の確保と漁場環境の保全に取り組みます。

また、漁具等の近代化や新技術の活用及び漁業後継者の育成を支援します。

さらに、地元で獲れた水産物の地産地消を推進するとともに、魚食普及活動や観光と連携した取り組みを行うなど、市民が水産業に関心を持つ機会を創出します。



4 企業活動の活性化(ものづくり産業の振興)

企業が立地しやすい環境を整えるとともに、高付加価値型産業など多彩な分野の企業誘致を図ります。

また、既存企業の操業環境の向上、設備投資に対する優遇制度を強化するなど、企業留置対策を講じます。

さらに、中小企業のために、開発・販売・人材育成など様々な観点から総合的支援を行い、ものづくり産業の活性化を図ります。

5 商業の振興

秩序ある商業圏域の形成を図るとともに、各地区商店街や周辺商業地については、商工関係団体等と連携しながら地域が持つコミュニティ機能や安全・安心機能を強化し、にぎわいのある新しい商業施設として再生を図ります。



また、買い物弱者対策に取り組み、消費者が安心して買い物ができる仕組みづくりを目指します。

6 新規産業の創出

西条産業情報支援センターを拠点とした産学官金連携^{※5}や農商工連携のもと、新規産業の育成支援や既存産業の新規分野への事業展開支援に取り組みます。

また、第一次産業から第三次産業までの有機的な連携による「総合6次産業都市^{※6}」を目指すとともに、本市の豊かな水資源や自然環境など地域の特性を活かした新規産業の育成にも積極的に取り組みます。

7 観光産業の創出

本市の豊かな自然や歴史・産業・名水に育まれた産物などの観光資源を活用した魅力的な観光ルートを確認し、広く情報を発信します。



また、来訪者の多様なニーズに対応できるよう観光拠点の整備を図るとともに、市民が「おもてなし」の心で来訪者と交流を深めるなど受け入れ体制を充実し、国内観光客だけでなくインバウンド観光^{※7}の推進を図り観光客の増加に繋がります。

8 産業人材・雇用環境

西条産業情報支援センターや商工団体などとの連携のもと、地域の産業を担う人材の発掘・育成に取り組みます。

企業間・異業種間での情報交流や技術交流、幅広い人材のマッチングを通じて、中小企業を中心とした雇用環境の改善を支援することで地域企業の価値を高め、成長できる環境づくりを目指します。

9 西条の価値や魅力の向上(まちのブランド化)

優位性・独自性のある地域特有の資源を掘り起こし、積極的に全国に発信します。

また、西条ならではの特産品開発を推進し、西条ブランド戦略による効果を農林水産業や観光など多方面へ波及させることにより、地域経済の活性化を図ります。

※1 食育:食の大切さを知り、身体や心の健康を育むこと。
 ※2 グリーン・ツーリズム:農山漁村などに滞在し、農林漁業体験やその地域の自然や文化に触れ、地域の人々との交流を楽しむ旅のこと。
 ※3 水源かん養:洪水や濁水を緩和し、水質を浄化すること。
 ※4 木質バイオマス:再生可能な生物由来の有機性資源(化石燃料は除く)のうち木材からなるもの。(樹木の伐採や造材の際に発生する枝や葉などの林地残材、製材工場などから発生する樹皮やのこ屑など)
 ※5 産学官金連携:産(産業界=民間企業)、学(教育・研究機関)、官(行政)に加え、地域の金融機関が連携をはかること。
 ※6 総合6次産業都市:農産物の生産から加工・流通までの機能を単一の地方都市へ集約した都市のこと。
 1次産業(農林水産業)×2次産業(食品加工)×3次産業(流通・観光)=6次産業(総合産業)
 ※7 インバウンド観光:外国人旅行者を誘致すること。

活力あふれる産業振興のまちづくり

To promote a vibrant industrial recovery, the city will provide support for building infrastructure and human resources for the local agricultural, forestry, fishing, and other industries, while making sure that the unique qualities of the city are preserved. Saijō City will also work towards creating new industries and branding the city in order to sustainably develop the regional economy, in addition to working to revitalize green tourism, its product creation (monozukuri) and commercial industries.



「西条人」に聞く

丹原 誠

農業はまだ成長できる産業

原で観光農園を始めて15年、私が継いで6年目になります。単なる観光農園ではなく違った楽しみ方を提供したいという思いからイチゴ農園の傍らでカフェを開きました。イチゴ農家でしか食べられないものを味わっていただき、消費者の生の声を聞くことができるので励みになっています。これからは、農家もただ農作物を育てるだけでなく、現地に足を運んでもらうために工夫していくことが重要だと感じています。

青年農業者協議会会長・ゆきもと農園 行元 勝俊 さん

様々なアイデアで西条市の農家もがんばっています!